

INTER KYOTO

インターキョウト

2012.7
No.48

一般社団法人 京都府情報産業協会



Contents

- 平成23年度第2回通常総会・府民セミナー ……2p
- 平成24年度第1回定時総会・京都ビジネス交流フェア2012 ……3p
- 組織体制役員及び委員長 ……4p
- 一般社団全役員・理事挨拶(9名) ……4・5p
- 各委員会の主な事業 ……6p
- 一般社団法人移行の趣旨及び
移行設立登記までの経過報告について ……7p
- 会員名簿 ……8p

CoffeeBreak ～ミニ・ボエム～／編集後記

平成23年度 第2回通常総会

開催日時：平成24年3月29日(木)午後4時～5時10分

開催場所：キャンパスプラザ京都

■ 一般社団法人移行認可に伴う事業運営組織体制・委員会活動の見直しを軸に!! ～役員改選による新年度体制の始動～

平成23年度第2回通常総会が開催された。第1号議案 平成24年度事業計画及び予算案について、小野隆夫理事・事業推進委員長並びに和田壽郎事務局長が説明し、審議の結果原案通り承認された。第2号議案 事業運営組織体制及び委員会活動等の見直しの件について佐々木理事より説明がなされ、審議の結果原案通り承認された。第3号議案 理事全9名任期満了に伴う選任の件、第4号議案 監事2名任期満了に伴う選任の件、第5号議案 特別職2名任期満了に伴う承認の件については、議長は関連議案として一括審議の旨を告げ、議場に推薦並びに立候補者の有無を確認のうえ、3月15日開催の

第3回理事会において決議した役員候補者案を提示し、審議の結果何れも原案通り承認された。

尚、一般社団法人移行認可証が3月21日付けにて京都府知事より交付を受け、役員改選による理事及び監事については一般社団法人移行設立登記と同日の4月1日付けで登記を行うこととなった。

平成24年度事業計画及び予算については、新法人移行後の定時総会で決議することが承認され、これに伴い新年度収入支出については、現行定款34条の規定により暫定予算を適用されることとなった。

府民セミナー『クラウドサービスを活用しよう!』

主催：一般社団法人 京都府情報産業協会 共催：京都府中小企業技術センター

後援：公益財団法人京都産業21、京都商工会議所、ITコンソーシアム京都

■ ～これからの地域社会や企業経営に活かすクラウドサービス～

京情協では、平成24年度の府民セミナーを5月31日(木)に開催いたしました。近年コンピュータの新しい利用形態としてクラウドサービスが注目を集めています。今回は、業界でもいち早くクラウドサービスに取り組み、多くの導入実績を誇る日本ユニシス株式会社 U-Cloud事業部 関西支社ICTプロジェクト長の松角浩海氏に『クラウドサービスを活用しよう!』と題して、ご講演いただきました。クラウドサービスに対する関心の高まりを示すように、多くの府民も参加し、会場となった京都コンピュータ学院京都駅前校6Fホールは満席の盛況でした。

ガートナーの定義によれば、クラウドコンピューティングは、「インターネット技術を利用する複数の顧客に向けて、極めて拡張性の高いIT資源を



サービスとして提供するコンピューティングのスタイル」を意味します。クラウドサービスの導入にあたっては、必要経費が月額制になるなど商慣習の変更も生じ、IT資産のブラックボックス化などに対する心理的障壁もありますが、ROI(投資収益率)的な視点で検討することが重要であると松角氏は指摘します。従来型のシステム開発が、ともすると完成までに時間がかかり、顧客企業にとって機会損失につながる場合も多かったのに対して、直ちに導入し、不要であればやめることもできるクラウドサービスの場合、加速化するビジネス環境への対応が可能となります。

最新の導入事例の紹介も含んだ松角氏の講演は、とても興味深く、参加者にとっては、クラウドサービスの最前線に触れる絶好の機会となりました。



平成24年度 第1回定時総会

開催日時：平成24年5月31日(木)午後2時～3時10分

開催場所：京都コンピュータ学院京都駅前校

■ 一般社団法人移行登記完了後、 新体制による新たな出発を期して!!

平成24年度第1回定時総会が開催された。第1号議案 平成23年度事業報告書及び決算報告書承認の件について、小野隆夫理事並びに和田壽郎事務局長が説明し、審議の結果原案通り承認された。第2号議案 理事1名辞任に伴う1名選任の件については、長谷川亘議長より議場に推薦並びに立候補者の有無を確認のうえ、5月15日開催の第1回理事会において決議した理事候補者案を提示し、審議の結果原案通り承認された。また第3号議案 定款運用内規承認の件、並びに第4号議案 慶弔規定承認の件の両議案についても原案通り承認された。

続いて、5月15日開催の第1回理事会での審議決定事項について以下の通り事務局長並びに各委員長より報告がなされた。

1. 正副会長選任報告について

【会長】長谷川 亘 京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院 統括理事長
【副会長】上坂 至 株式会社島津ビジネスシステムズ 代表取締役社長

2. 委員会設置及び委員長の選任について(委員長は理事より選任)

(1)企画委員長 佐々木 昭彦 株式会社 ユニシス 代表取締役社長
(2)経営委員長 吉本 光希 株式会社 日本電機標準 代表取締役
(3)技術委員長 桑原 人司 株式会社 システム創見 代表取締役社長
(4)文化・地域委員長 木下 豊 株式会社 エクザム 代表取締役社長

3. 平成24年度事業計画書及び収支予算書について

4. 一般社団法人移行登記報告について



「京都ビジネス交流フェア2012」の開催

～つながる、拡がる、ビジネスフィールド～

平成24年2月23日(木)・24日(金)「京都ビジネス交流フェア2012」が京都市バラスプラザで開催され、当協会は広告協賛を行った。産業活性化を目指し、京都府及び公益財団法人京都産業21の共催により開催され、京都企業の技術力をアピールする「ものづくり加工技術展」に126社・15グループが出展し府内外から来場したメーカー・商社等との商談会が活発に繰り広げられた。「きょうと連携交流ひろば2012」、4つの「BPフォーラム」などのイベントにも多くの参加者を得、主催者の発表では2日間にわたる来場者は過去最大の8,500人に達したとのことである。



平成24年度組織体制 役員および委員長

会長(代表理事)	長谷川 亘	京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院	監事	井上 太市郎	(株)スリーエース
副会長(理事)	上坂 至	(株)島津ビジネスシステムズ	監事	棟田 稔夫	ワールドビジネスセンター(株)
理事	小野 隆夫	けいしんシステムリサーチ(株)	相談役	北山 寛巳	けいしんシステムリサーチ(株)
理事	北川 貞大	カゴヤ・ジャパン(株)	企画委員長	佐々木 昭彦	(株)ユニシス
理事	木下 豊	(株)エクザム	技術委員長	桑原 人司	(株)システム創見
理事	桑原 人司	(株)システム創見	経営委員長	吉本 光希	(株)日本電算機標準
理事	佐々木 昭彦	(株)ユニシス	文化・地域委員長	木下 豊	(株)エクザム
理事	橋本 之博	(株)たけびし	事務局長	和田 壽郎	京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院
理事	吉本 光希	(株)日本電算機標準			

一般社団法人移行設立に伴う理事および委員長の就任挨拶



会長
長谷川 亘

会員企業の皆様におかれましては、ますますご活躍、ご発展のこととお慶び申し上げます。
平素は、本協会運営のため、ご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。本協会は、皆様のおかげをもちまして、本年4月より一般社団法人へ移行いたしました。
このたび新法人の会長を拝命いたしまして、より一層身の引き締まる思いであります。
本協会のさらなる発展のため、誠心誠意努力いたす所存です。
さて、東日本大震災からの復旧・復興は、国をあげて進め

られていますが、問題も山積しています。しかしそのような現状においても、IT関連分野には、まだまだ多くの未知の可能性が有ります。節電対策や次世代エネルギーの発展にも、ITの力は大きいに活用できるものと期待されます。厳しい状況であっても、蓄積した知恵を活かしながら、皆で果敢に取り組んでいくことで未来は必ずや展開するものと考えております。
今後とも、本協会に対しまして、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



副会長
上坂 至

今年度、副会長を務めさせていただくこととなりました上坂至です。
理事も副会長も初めてとなりますので、会員皆様のご迷惑にならないよう努めてまいりたいと思っております。昨今のICTの進歩はめまぐるしく、京情協の会員を取り巻く環境も日々変わりつつあります。その中で、地域社会への貢献と言う変わらない理念と、変化の激しいビジネスに関わつ

ておられる会員皆様への貢献の2つの側面で、委員会の支援等も行っていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



理事および企画委員長
佐々木 昭彦

この激動の時代において、新生京情協の理事及び企画委員長を拝命致すことになり、誠に身の引き締まる思いでございます。
理事と致しましては、諸先輩が営々と築いてこられた京情協の良きところを生かしつつ、社会が大きく変わってしまったところはそれに合わせて大胆に変革しながら、よりよい京情協を目指して、微力ではございますが努めさせていただきます所存でございます。
さて、もう一つ拝命いたしました企画委員長と致しまし

ては、会員増強WG、イベント連携WG、広報WG、京都ドメイン関連WGを管轄し、それらの活動を着実に推進することに努めます。中でも特に私の担当は会員増強WGで、「新しい京情協」を前面に押し出しながら、その特徴や会員にとっての利点を強くアピールしながら新規会員を勧誘し、会員数の増加を目指します。できるだけ「ALL京情協」で取り組みたく思っておりますので、会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



理事および技術委員長
桑原 人司

この度、理事及び技術委員長に就任いたしました桑原でございます。
まず、私が理事を受けました最大のミッションは「京都をIT(情報と技術)と知恵で活性化させること」「京都のIT企業をより活性化させること」各企業が情報発信やビジネス交流が出来る場を構築し同業者間・異業種間の交流を活発化することによる当会員のITスキル、ヒューマンスキルの向上を目指して行きたいと考えています。京都に京情協が有って良かったと思える様な団体組織を目指します。どうぞ、ご支援をお願い致します。
そして、技術委員長におきましては、今後ますますITに関

連する領域が広く・深くなり多岐に渡ってきます。又、IT技術の進歩は非常に早くそしてめまぐるしい状況です。
その中で本年度も不変なスキルとして「人(ヒューマン)」にスポットをあてた研究・勉強会を「SE/システム高度化研究会」で実施致します。しかしながら先進的な技術にもスポットをあてる必要があると認識しております。「技術研究会」としてテーマは未定ではありますが、特定な技術にもスポットをあてた研究会を実施する計画です。出来る限り、全会員企業が興味・必要性を持てる研究会を目指したいと思いますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。



理事および経営委員長
吉本 光希

このたび、理事に就任いたしました吉本光希でございます。京情協に関与させていただいてからの年月は浅いのですが、大役を仰せつかりましたことに大いに責任を感じております。微力ではありますが全力をつくし期待に答えるよう頑張る所存でございます。
また、合わせて経営委員長と広報WG長に就任させていただくことになっており、経営委員会としては、会員各社さまと府民のみなさまにお役に立てるよう啓蒙活動および会員サービスの2点を中心に活動していきます。
啓蒙活動については5月31日に府民セミナー「クラウド

サービスを活用しよう！」を開催させていただきました。
会員サービスについては年2回の予定で「経営研究会」を開催させていただきます。また、会員各社さまの景気状況をまとめた景気短観調査を行なっております。
広報WGとしては「インターキョウト」の発刊、「京情協ホームページ」の維持管理、新体制における各委員会およびWGとの連携を強化し広報活動を進めます。



理事および文化・地域委員長
木下 豊

新法人の理事を拝命し、合わせて文化・地域委員長に就任いたしました木下豊でございます。
微力ながら京情協の一層の発展の為、力を尽くしてまいりたいと考えております。
昨年は京情協10周年という大切な節目の年でございました。また、ANIA全国大会を盛況のうちに終えられましたのは、長谷川会長以下、全員が自分の役割を全力で遂行した賜と思えます。あの時の経験を生かし、次の10年は更に地に足をつけ、ひとつずつ成果を出していける団体でありたいと願っております。
また文化・地域委員会の活動方針は、京都に拠点を置く企業で働く者として、京都の歴史ある文化・芸術に触れることにより文化的知見を高め高い教養を身に付けること、また、地域貢献の意識を高めてその可能性を広げることの2点とし、具体的

にはセミナーの開催、商店街との連携企画の実施、文化施設の訪問を行うこと等を計画しています。
「画期的な新製品を生み出す源泉はリベラルアーツとヒューマニティーに裏打ちされたテクノロジー」だとジョブスは語りました。今、日本が世界のもの作りから大きく引き離されているのはまさにこの点だと思っています。10年近く海外から日本を見つめてきたことで持てた視座を、少しでもこの委員会のお役に立てることができたら幸いです。
業界全体の発展、地域社会への貢献、そして京情協の地位の向上のため、精進してまいります。未熟ではございますが、皆様と力を合わせてがんばってまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事
小野 隆夫

当協会は、本年4月1日一般社団法人移行を期に、新組織体制のもと事業運営に取り組むこととなりましたが、新法人の理事を拝命し微力ではありますが、協会の一層の発展に貢献させていただけるよう力を尽くしてまいりたいと考えております。
また、新委員会として発足した文化・地域委員会の副委員長を拝命しました。文化活動WGや親睦WGは、今までにない新しい事業運営組織であり、企画立案に積極的に携わり委員会

の活動方針に沿って、木下委員長はじめ各WG長と協力して実行力を発揮していく所存です。会員の皆様の格段のご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



理事
北川 貞大

日本国にとってもICT業界にとっても、まさに本当の力を発揮するべきこの年に、京都府情報産業協会の理事を拝命し、皆様の御手伝いをさせていただけることを光栄に存じます。
世界中に通信基盤とモバイルネットワークが整備された今、このICTという技術は社会に対してかつてない影響力を持つようになりました。クラウド技術による社会の変貌がその象徴でしょう。我々ICT業界はそれだけの力を持つと同時に、世界に対してそれに見合う責任も果たさ

なければなりません。
日本の顔でもある京都における我々の活動には、世界が目撃するだけの意味があります。
今年度、私は京都のICTにしかできないこと、京情協が今すべきことを突き詰め、邁進する所存です。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



理事
橋本 之博

この度、弊社前任の中村から引継ぎ、理事職を務めさせて頂くことになりました。
私事ではありますが、下名は入社以来主に各製造分野に於ける自動化や合理化に伴うソリューション事業に従事して参り、同じコンピュータ活用とは言え目的や用途は本会会員企業の皆様とは若干異なる経歴となっております。
しかし乍、昨今ではIT技術の浸透はOAとFA(Factory Automation)の垣根が無くなりつつあり、むしろ融合する傾向

にあると感じております。
本会の理念である情報関連技術の普及や地域産業の情報化促進に微力ながら少しでもお役に立てるよう努めて参る所存にて何卒ご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

平成24年度 各委員会の主たる事業計画内容

1. 企画委員会

- ① 会員増強WG.....新規会員の入会勧誘及び既存会員の参画向上活動を行う。
・新規会員勧誘期間の設定(2012/9~12末)
- ② 広報WG.....京情協の知名度向上、会員間の結束強化を目指し、京情協及び会員企業の新鮮な情報を、広く・強く発信するための活動。
・インターキョウト48号発刊 ・ホームページ改訂の検討
・会員企業の新着情報更新機能、インターキョウトのWeb化、SEO対策など検討
- ③ 京都ドメイン関連WG.....京都ドメインの意義を京情協会員に浸透させるため、取り組み内容とそのメリット・デメリット、利益・リスクなどを明確にした資料の作成。
- ④ イベント連携WG.....公益財団法人京都産業21主催「京都ビジネス交流フェア2013」へのブース出展及び商談会への参画を検討する。

2. 経営委員会

- ① 府民セミナーWG.....府民セミナー開催の企画・実施。
- ② 経営勉強会WG.....年2回開催予定 第1回目テーマ:「ドット京都説明会」(案)
- ③ 景気短観WG.....年4回、四半期毎に開催予定

3. 技術委員会

- ① 情報化月間協賛セミナーWG.....情報化月間協賛セミナーの企画・実施。
- ② SE/システム高度化研究会WG...3回/年 定員20名程度で開催予定。
- ③ 技術研究会WG.....2回/年 定員10名程度(外部講師を招く)
・会員各社の新技術の開発や強化に役立てるため、会員共通のテーマを取り上げ課題解決に向けた研究会の企画立案及び実施。

4. 文化・地域委員会

- ① 新春セミナーWG.....新春セミナーの企画・実施。
- ② 商店街連携WG.....商店街振興組合ならびに商店との直接交流を通じて会員ビジネスのヒント・気づきに繋がるような商店街振興組合向けにミニセミナー等の企画立案及び実施。
- ③ 文化活動WG.....京都の伝統工芸・文化・芸術、異業種産業に触れる機会を通して、会員の視野を広げ深める事を目的に、文化施設の見学、異業種交流などの企画立案及び実施。
- ④ 会員親睦WG.....京情協の会員企業同士の結束強化を目指し、会員同士の親睦を図るようなイベントの企画立案及び実施。(年2回程度 当初予算不足のため会費制で実施予定)

一般社団法人移行の趣旨及び 移行設立登記までの経過報告について

① 一般社団法人移行の趣旨

新公益法人制度への移行については、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与する」という新制度の趣旨を勘案しつつ、会員の総意を確認した上で、協会としての法人のあり方を決定していくことが重要であり、当協会としては、平成22年度より事業推進委員会及び理事会で鋭意検討を重ねてきたが、平成23年3月30日通常総会において、以下の趣旨により一般社団法人へ移行申請を行うことが提案され承認可決された。

① 会員による会員のための共益活動

京情協設立以来、府民向け情報関連セミナーの開催や会員企業の技術開発・利用の促進等の諸事業について、会費を原資に、主として会員向けないし、会員を中心とした活動を積極的に展開することにより、一応の成果をあげてきた。これらの活動は、その事業性において新法のもと共益的事業と見なされる。京情協は、今後とも会員による会員のための共益活動を推進するとともに、その成果を会員のみならず広く一般に公開することにより、公益の増進に寄与することが望ましいと考えられる。

② 柔軟な事業展開(会員のメリット)

一般社団法人とすることにより、1社では対応できない業界の課題をテーマとした調査研究、講演会、交流会、教育研修等を柔軟に企画・実施できることは、会員にとって大きなメリットである。

③ 名称に対する考え方

「公益社団法人という冠を称することによる無形の信用力、影響力は大きい」との意見があるものの、今後も一つひとつの活動の積み重ねによって「公益性の高い団体」としての評価をより確固たるものとし、社会的影響力を保持することは可能であると考えられる。

④ 一般社団法人移行後も、将来の選択肢を何ら妨げるものではなく、公益目的事業運営を主とする公益社団法人の認定申請は可能である。

② 一般社団法人への移行申請から設立登記までの経過報告

- ・平成23年3月30日 平成22年度第2回通常総会において、一般社団法人移行認可申請を行うことを承認可決された。
- ・平成23年5月26日 平成23年度第1回通常総会において、定款変更並びに公益目的支出計画について承認可決された。
- ・平成23年8月10日 京都府知事あてに一般社団法人移行認可申請を行う。
- ・平成23年9月30日 申請内容(公益目的支出計画、事業費用の配賦計算書等)一部補正(以後5回にわたり軽微な補正を行う。)
- ・平成24年1月18日 公益認定等委員会から移行認可基準に適合の旨答申された。
- ・平成24年3月21日 京都府知事による移行認可証交付された。
- ・平成24年4月1日 旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を行なった。
- ・平成24年5月31日 定時総会において平成23年度事業報告及び収支決算の承認を得る。
- ・平成24年6月8日 京都府知事に対し公益目的財産額の確定申請を行い、6月22日承認通知書を受理した。

一般社団法人 京都府情報産業協会 会員企業一覧

【正会員】

株式会社AIVICK	株式会社クレオテック	株式会社ネクステージ
アスノシステム株式会社	株式会社KSC(旧京都ソフトウェア株式会社)	バンテック株式会社
株式会社アルバス	けいしんシステムリサーチ株式会社	バンネットワーク株式会社
株式会社アントアント	株式会社ケーケーシー情報システム	株式会社ビーネット
インフォニック株式会社	株式会社コムウェイ	株式会社ブリッジコーポレーション
株式会社ウェルアソシエイツ	株式会社システム創見	株式会社プライマル
株式会社エイコー	システムプロデュース株式会社	株式会社モーダス
株式会社エクザム	島津エス・ディー株式会社	株式会社ユニシス
エクセレンス株式会社	株式会社島津ビジネスシステムズ	株式会社洛洛.com
株式会社エステンナイン京都	ジック株式会社	ワールドビジネスセンター株式会社
エスピーメディアテック株式会社	株式会社スリーエース	
株式会社エム・アイ・ケー	星和テクノロジー株式会社	
オムロンソフトウェア株式会社	株式会社ゼロワン	
カゴヤ・ジャパン株式会社	株式会社総合システムサービス	
株式会社カスタムウェア	株式会社たけびし	
株式会社京信システムサービス	大和電設工業株式会社	
京都コンピュータシステム株式会社	中信コンピューターアンドコミュニケーション株式会社	
京都システムズ株式会社	株式会社 テイジエール京都支店	
京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院	電算紙株式会社	
京都電子計算株式会社	株式会社トーセ	
株式会社近畿リサーチセンター	株式会社日新システムズ	
株式会社クランディム	株式会社日本電算機標準	

【賛助会員】

NTTコミュニケーションズ 株式会社京都支店
ケーエスピー株式会社
大京システム開発株式会社
ダイワボウ情報システム株式会社京都支店
西日本電信電話株式会社 京都支店
日本ユニシス株式会社 関西支社
株式会社日立製作所京都支店
富士ゼロックス京都株式会社
富士通株式会社 京都支社
プライムエンジニアリング株式会社

Coffee break ~ミニポエム~



漕ぎだす舟は/ひかる水面に/輪郭なくし
すべてのものが/たった一つの/明るさになる

低くかすめて/瘦る鳥たち/音もなく舞い
真昼の風が/涼しさ呼んで/さざなみをうむ

かつて誰かが/誰かを愛し/舟を漕ぎだし
ひかる水面に/たった一つの/祈りささげた

水面に浮かぶ/追憶の花/色をなくして

編集 後記 Vol.48

2012年度より、一般社団法人「京情協」として新しいスタートをきりました。今後は、これまで以上に幅の広い活動が可能となりましたので、新生「京情協」として新しいスタイルで、そして価値のある活動を実施できればと考えております。

世間では長引く不況の影響からか、あまり良い話が聞こえてきません。しかし、そんな中だからこそ、新生「京情協」として京都を盛り上げ、引いては全国までも盛り上げられるような取り組みを、みなさまと共に行えれば幸いです。

今後とも宜しくお願い致します。

京情協WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp/>